



News 7月号 News 7月号

麻布M&Aセンター・株式会社叶光 (ToKo)

飯島総合会計事務所

発行人/飯島 一郎 今月編集者/高田 由加

〒106-0046 東京都港区元麻布3-2-19-4F

Tel : 03-5775-1631 Fax : 03-5775-1632

URL : <http://www.is-tax.co.jp/>

☆2018年分路線価公開☆

2018年分の路線価及び評価倍率を記載した路線価図等が7月2日(月)に国税庁ホームページで公開されました。

ホームページアドレス www.rosenka.nta.go.jp

毎年、この時期にその年の路線価及び評価倍率を記載した路線価図が公表されます。

報道によりますと、2018年は、全国平均で前年比0.7%プラスとなり、3年連続の上昇となりました。

上昇率が最も大きかったのは沖縄県で5.0%増です。一方、北陸4県、四国4県などの計29県は、下落となりました。

全国一位は例年どおり東京都中央区銀座5丁目銀座中央通りです。2017年は1㎡あたり4,032万円でしたが、2018年は1㎡あたり4,432万円となり過去最高を更新しています。

今年も、参考に、弊社の事務所所在地(港区元麻布3-2-19)の土地の路線価を紹介します。この土地の1㎡あたりの価額が1,620,000円であることがわかります。(2017年1,490,000円)かなりの上昇です。



路線価は、相続税や贈与税の基準となります。相続税申告の際には、この路線価を使って評価しますが、土地の間口・奥行・形状によって評価額が異なります。地方の場合には、路線価が定められていない地域があります。その場合は、固定資産税評価額に国税庁が定めた倍率を乗じて計算します。

路線価は基準にはなりますが、土地の評価はいろいろな要素を考慮しなければなりません。詳しくは、担当者までお問合せ下さい。

☆コラム(飯島のつばやき)☆

名古屋の味噌カツ

先月、私が理事を務めている一般社団法人全国IT推進研究会の役員会のため名古屋へ行った。役員が全国に散らばっているため、出席者の多いエリアでその年の役員会の場所が決まるのである。今年は昨年に続き名古屋であった。

名古屋と言えば、味噌カツ、エビフライ、味噌煮うどんなどなど、旨いものがいっぱいある。実は、名古屋に行く前に、名古屋出身のワイン友達(昨年の受験仲間)に味噌カツの美味しいところを教えてもらっていた。

地下鉄東山線「栄」駅下車徒歩5分、元祖みそかつ丼「味処叶」である。(当社の社名の一文字と同じ)

オープン11時で、11:30には到着。しかし、既に5、6名の人が並んでおり、お店の中は当然満席。やはり30分ほど炎天下の中、店の前に並び、その間にメニューを渡され、先に注文をとっていく。

私が注文したのは、もちろん「みそかつ丼」。それにお店おすすめ「ネギのトッピング」。味噌汁は別なので「アサリの味噌汁」別注文。

2階の座敷に通され、待つこと15分。もちろん、待っている間はビールを一杯。ついにみそかつ丼が運ばれてきた。

そこには、一口サイズのかつを味噌ダレにくぐらされたものが5キレ、ものすごいボリュームである。ありったけのネギのみじん切りがその味噌カツを覆っている。

まずは、箸で一切れ、味噌カツをすくい上げ、前歯でかじると香ばしい香りと共にさくっという食感と甘くない味噌味とジューシーな肉の旨味が口の中に広がる。そこにご飯を追加で投入。ムシャムシャと噛みしめる。なんとも言えない至高のときである。ネギが油のしつこさをかき消してくれる。次に七味唐辛子をふってみると味にアクセントが加わった。

それからは脇目も振らず、一気に完食。アサリの味噌汁が内蔵の隅々に行き渡った。

味噌カツのイメージが変わった瞬間でした。

今月の一言

『強い者が勝つのではない。勝った者が強いのだ』
(フランツ・ベッケンバウアー)

FIFAワールドカップロシア大会。いろいろと考えさせられることもありました。挑戦する姿、つまりプロセスが大事なのはわかっています。でも、結果を出さなければ評価されないのは事実です。だから勝ちに行くのです。